

JIS

二輪自動車－エンジンネット出力試験方法

JIS D 1000 : 2009

(JSAE)

平成 21 年 12 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	二 瓶 好 正	東京理科大学
(委員)	飯 塚 悦 功	東京大学
	大 橋 守	社団法人日本鉄鋼連盟
	大 山 永 昭	東京工業大学
	小 野 晃	独立行政法人産業技術総合研究所
	菊 地 眞	防衛医科大学校
	窪 塚 孝 夫	社団法人自動車技術会
	佐 野 真理子	主婦連合会
	菅 原 進 一	東京理科大学
	田 中 護 史	財団法人日本船舶技術研究協会
	田 中 信 義	キヤノン株式会社
	東 郷 洋 一	財団法人日本規格協会
	富 田 育 男	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	中 西 英 夫	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	長谷川 英 一	社団法人電子情報技術産業協会
	古 谷 毅	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	宮 入 裕 夫	東京医科歯科大学名誉教授
	若 井 博 雄	財団法人製品安全協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 57.10.15 改正：平成 21.12.21

官 報 公 示：平成 21.12.21

原 案 作 成 者：社団法人自動車技術会

(〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 五番町センタービル TEL 03-3262-8211)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号	2
5 標準大気条件	3
6 試験方法	3
6.1 一般	3
6.2 測定装置の精度	3
6.3 設定及び試験条件	4
6.4 試験手順	7
7 トルク, 出力及び燃料消費率	7
7.1 測定トルク, 測定出力及び燃料消費率の算出	7
7.2 ネットトルク及びネット出力	8
7.3 修正ネットトルク及び修正ネット出力	9
8 試験報告書	9
8.1 一般	9
8.2 試験報告書の記述法	9
8.3 結果報告	12
附属書 JA (規定) 圧縮点火式エンジンの出力試験	14
附属書 JB (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	20
解 説	24

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人自動車技術会(JSAE)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS D 1000:1998** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

二輪自動車－エンジンネット出力試験方法

Motorcycles－Engine test code－Net power

序文

この規格は、2004年に第3版として発行されたISO 4106を基に作成した日本工業規格であるが、規格利用上の利便性向上のため、規格の構成及び技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格の附属書JAは、対応国際規格にはない事項である。また、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、JIS D 0109に定義されている二輪自動車の、エンジン性能を評価するためのネット出力試験方法を規定する。試験結果は、全負荷状態における修正ネットトルク、修正ネット出力及び燃料消費率のエンジン回転速度に対する特性曲線として表される。

この規格は、フリーピストン式を除く往復動内燃機関（火花点火式エンジン及び圧縮点火式エンジン）及びロータリーエンジンに適用する。エンジンは、自然吸気式、又は機械式過給機若しくはターボ過給機のいずれかを用いた過給吸気式でもよい。

なお、圧縮点火式エンジンに特有な試験条件などについては、附属書JAに規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 4106:2004, Motorcycles－Engine test code－Net power (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0108-1 往復動内燃機関－用語－第1部：機関設計及び運転用語

注記 対応国際規格: ISO 2710-1:2000, Reciprocating internal combustion engines－Vocabulary－Part 1: Terms for engine design and operation (IDT)

JIS B 8003 内燃機関－機関出力の決定方法及び測定方法－共通要求事項

注記 対応国際規格: ISO 15550, Internal combustion engines－Determination and method for the measurement of engine power－General requirements (IDT)

JIS D 0109 二輪自動車－用語